

# 工事原価の問題点を解消

中村建設

## 「クッション・ゼロ」へ社内研修

中村建設(中村光良代表取締役社長)は、建設業を取り巻く厳しい環境下での新たな経営改革の一環として、現場リスクのうち工事原価に関する問題点を解消する「クッション・ゼロ手法」の導入に取り組んでいる。8月中旬に社内研修を終了し、9月からモデル的に実施していく。

社内プロジェクト(プロジェクトリーダー飯田裕和技術開発部長)として力を注いでおり、まず現場代理人クラスの技術社員を対象に、5月から8月にかけて全8回の社内研修を実施中。写真は去る8日午後、同社会議室で開催した第5回研修の様子で、13人が参加した。

講師は、建設業向けのシステム構築や経営改革コンサルティングなどを手がけるハルシシステム設計の安中真介代表取締役。

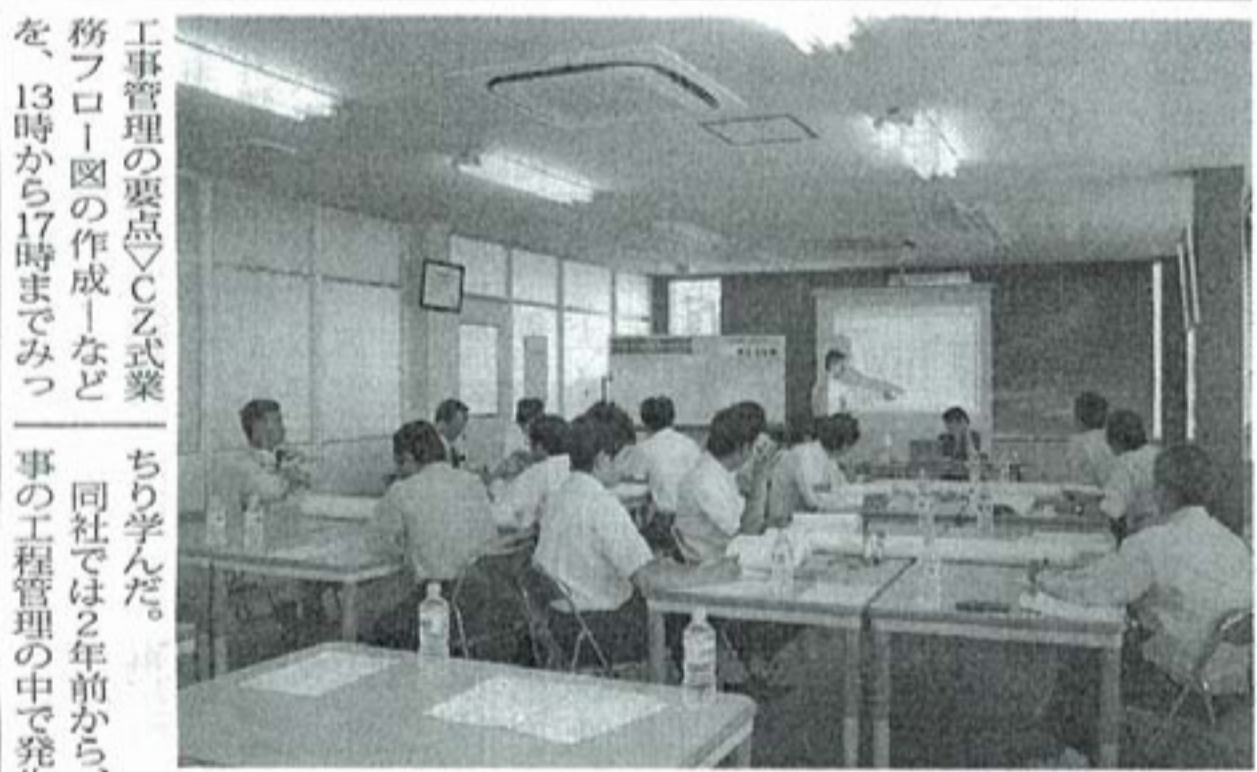


講師の安中氏



飯田部長

これまででは講義中心の研修だったが今回からはより実践的な内容に移り、VZ(クッション・ゼロ)式実行予算作成手順VZ式



全8回の5回目で実践的な内容に

工事管理の要点VZ式業務フロー図の作成など、13時から17時までみっちり学んだ。

同社では2年前から、工事の工程管理の中で発生する様々なリスクを低減するため「CCPM手法」による工程管理を実践している。「クッション・ゼロ手法」はそれに続く新たな取り組みで、社内研修終了後の9月から実践段階に入る。併せて今後、同社の協力企業向けの研修も実施していく方針。

社内には「CCPM手法」の状況を示す掲示板も

